

平成24年度 部局の実行計画(確定版)一覧

中期計画番号	中期計画/年度計画/部局の実行計画	担当理事/担当部局	達成水準・根拠資料	23年度との差異
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置				
1 教育に関する目標を達成するための措置				
(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置				
	学士課程教育の内容・成果に関する具体的方策			
004	④ 学士力を保証するため、シラバスの充実、GPAの活用などの単位制度の実質化に向けた諸方策や到達度把握による学習評価など、学士課程における学習成果を総合的に判断する仕組みを整える。	教育・学生担当理事	学士課程における学習成果を総合的に判断する仕組みが、全学的に導入されている。	
	① 「履修科目として登録できる単位数の上限に関する方針」に沿って、履修科目の登録に関する規程の整備を行うとともに、引き続きシラバスの充実やGPAの積極的な活用など諸方策を検討し、単位制度の実質化を進める。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・各学部等の履修科目登録に関する規程の策定の調整状況 ・単位制度実質化に呼応したシラバスの整備状況 ・履修科目登録に関する履修規程等 ・単位制度実質化に向けた諸方策の検討状況 ・単位制度実質化の改善状況	
	④ シラバスの充実を支援するため、引き続きシラバスに掲載された参考図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト	同じ
(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置				
	教養教育の実施体制に関する具体的方策			
	教育環境の整備に関する具体的方策			
013	① ICTを活用した教育環境を整備し、自学自習スペースを充実する。	教育・学生担当理事	・ICTを活用した授業外の自学自習用コンテンツを提供し、学生が積極的に利用している。 ・現在あるすべての自学自習室の情報環境が充実している。	
	② 引き続き、各学部等及び附属図書館における自学自習スペースの利用・充実状況を掌握し、必要に応じて全学的な観点での対策を講じる。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・自学自習スペースの整備状況 ・自学自習スペースの利用状況データ	
	③ 引き続き、学習環境の整備・充実に取り組み、必要に応じて対策を講じる。	附属図書館	附属図書館の学習環境整備・充実状況	同じ
(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置				
016	② 学生の生活支援、社会活動支援などを充実するとともに、学生のメンタルヘルスクアを強化する。	教育・学生担当理事	・経済的理由により修学を途中で断念(退学、除籍)する学生が少なくなる。 ・課外活動やボランティアへの積極的参加を支援する体制が充実している。 ・本学の就職支援に対する信頼度ないし満足度が向上している。 ・学生相談員等による学生相談・カウンセリングにより健康生活の支援を受けることができる。	
	② 学生の活動情報を地域に発信することにより、活動の場を広げるための支援など、課外活動やボランティア活動の支援を充実する。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・学生支援室課外活動・経済支援部門会議資料 ・校友会ボランティア活動援助実績	
	④ 引き続き、学生の就職活動を支援するため、関連する図書を整備する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト	同じ
2 研究に関する目標を達成するための措置				
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置				
	研究水準の向上に関する具体的方策			
017	① 将来性のある基礎的・基盤的研究への支援や若手研究者の育成に重点的に取り組み、研究活動を活性化する。	研究・国際・社会貢献担当理事	・研究シーズの選定、支援、評価体制が改善されていること。 ・論文等により、基礎的基盤的研究成果が1期より上がっていること。 ・若手研究者が採用され、研究活動が活発に行なわれ、論文等の実績があること。 ・プロジェクトの選定、支援、評価が継続されていること。	
	② 大学院生・ポストドクを含めた若手研究者の育成に向けた多面的な取り組みを継続し、研究支援と成果について検証を行う。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・若手研究者の研究水準向上のための多面的な支援をおこなう(スタートアップ資金や研究発表などへの支援実績、研究論文、学会発表実績) ・TAやRAとして採用した大学院生への支援をおこなう(事前教育、指導内容) ・多面的な支援、取り組み成果を検証し改善策を検討する(支援方法の検証資料)	
	④ 若手研究者を中心に引用文献データベース(スコープス)の周知を行うと共に、講習会等を実施する。	附属図書館	周知の方法・回数、講習会等の回数・参加者数を示す資料	新規
3 その他の目標を達成するための措置				
(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置				
026	① 集積した知的リソースをシーズマップとして公開し、社会の要望に的確に応えるシステムを構築する。	研究・国際・社会貢献担当理事	・社会の要望に的確に応えるシステムが構築されていること ・企業訪問などから具体的な成果が得られていること	
	① 産学・地域連携機構により、シーズマップの整備と公開を進めるとともに、地域ニーズとのマッチングを進める。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・整備したシーズマップの内容と、その公開及び情報発信の方法・状況 ・社会ニーズを把握し、ニーズとのマッチングの実績	
	④ 引き続き社会貢献事業の一環として、11月に図書館月間を実施し、講演会・展示会等を開催する。	附属図書館	開催記事を掲載した図書館報等	同じ
(2) 国際化に関する目標を達成するための措置				

平成24年度 部局の実行計画(確定版)一覧

中期計画番号	中期計画/年度計画/部局の実行計画	担当理事/担当部局	達成水準・根拠資料	23年度との差異
029	2)国の「留学生30万人計画」を視野に入れ、質の高い留学生を受け入れるための環境(入学, 学習, 生活, 就職)を整備する。 ②再構築した日本語教育カリキュラムを実施するとともに、平成25年度から開始する全学教育機構による留学生教育実施体制の準備を進める。 ④引き続き留学生に対する日本語教育を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	教育・学生担当理事 附属図書館	・質の高い留学生が在籍し、日本人学生との交流が増加している。 ・個人レベルに応じ、実践的な場面で使うことのできる日本語教育が実施されている。 ・私費留学生向けの奨学金が安定的に給付されている。 ・留学生用宿舎の確保と増加がなされている。 ・日本企業への就職が広がっている。 ・留学生向けの効果的なキャリア教育が実施されている。 (年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・日本語教育のカリキュラム表 ・平成25年度に向けた準備状況	同じ
IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置				
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置				
057	1)社会、ステークホルダーに適した方法により、教育研究活動や大学運営に関する情報を効果的に発信する。 ①広報対象者をしぼった重点的情報発信や前年度に行った入学生・在学生へのアンケート ④継続して教育研究活動を社会に発信することを支援するため、本学の機関リポジトリの取掛数を増やす。	企画・財務・労務担当理事 附属図書館	ステークホルダーごとに適した方法により大学情報が発信されていること。 (年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 登録レコード数	同じ
V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置				
2 安全管理と環境に関する目標を達成するための措置				
060	1)学生、教職員の安全確保を図るため、防災対策や安全に配慮した環境づくりに組織的に取り組む。 ②引き続き、災害、事件・事故等に備えるため、防災訓練等を実施するとともに、学生に対して「安全の手引き」を周知する。 ④引き続き、災害、事件・事故等に備えるため、防災訓練等を実施する。	医療担当理事 附属図書館	労働安全衛生法に基づく「安全」と「衛生」及び防災対策に関する各種の取り組みが行われ、安全な職場環境並びに安全なキャンパス環境が確保されていること。 (年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・年間計画表の作成 ・計画的に防災訓練等が実施されていること。 ・安全の手引きの周知状況 ・計画的に防災訓練等が実施されていることを示す資料	同じ
061	2)「エコアクション21」の環境活動を通して大学における環境マネジメントシステムを確立する。 ②引き続き、学生・教職員に対する環境教育を推進するとともに、学生による「エコアクション21」の取り組みを支援する。 ④引き続き、学生・教職員に対する環境教育の推進を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	医療担当理事 附属図書館	「エコアクション21」に沿った各種の環境活動の展開により全学的な環境マネジメントがシステムとして機能していること。 (年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 研修会・講演会を実施する。 ・研修会・講演会等の実施概要 ・環境教育日程表 エコアクション21学生委員会の活動を支援する。 ・エコアクション21学生委員会への支援実績資料 整備図書冊数及びリスト	同じ
3 情報基盤の強化に関する目標を達成するための措置				
062	1)情報基盤のセキュリティ強化のため、規程等の整備、技術的セキュリティ対策及び教育を継続的に行う。 ①教育・研究を支える情報基盤のセキュリティ強化のため、技術的セキュリティ対策及び教育を継続的に行う。 ④情報リテラシー・セキュリティ教育を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	研究・国際・社会貢献担当理事 附属図書館	平成19年11月策定の「佐賀大学セキュリティポリシー(改訂版)」に基づいて設定した、各年度の計画が、順々と実施されていること。 (年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・セキュリティ講習会を実施する。 ・セキュリティ強化のため、必要に応じて規程類の整備を行う。 ・セキュリティ対策システムの設定を、継続的にチェックする。 整備図書冊数及びリスト	同じ
4 男女共同参画の推進に関する目標を達成するための措置				
063	1)男女共同参画の基本方針を踏まえ、男女共同参画を推進する体制を整備し、教育研究環境の整備を進める。 ①男女共同参画推進委員会の下に整備する男女共同参画推進室は、全学的な男女共同参画推進事業を実施する。また、本学の男女共同参画基本方針に沿って、ワークライフバランスに配慮した働きやすい環境整備を進める。 ④男女共同参画の推進を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	企画・財務・労務担当理事 附属図書館	男女共同参画を推進する体制が整備され(委員会設置等)、行動計画を策定し、それに沿った取り組みが実行されていること。 (年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・男女共同参画推進室の3つの部門(ワーク・ライフ・バランス支援部門、キャリア支援・女性研究者支援部門、意識啓発・広報部門)における男女共同参画推進のための事業の実績 ・各学部、各センター等及び事務局(人事課、研究協力課)における職場環境整備の実績 整備図書冊数及びリスト	同じ